



藤田 高志

株式会社 リーリンジャパン

【本社】 福島県東白川郡塙町大字塙字代官町 52-1
 【支店】 神奈川県相模原市南区南台 6-8-12 B201
 フリーダイヤル：0120-57-6822
 URL：http://www.ririn.com

医療機器の設計・販売を手掛ける『リーリンジャパン』。同社を牽引する藤田社長は、医療機器の普及を通じて故郷・福島における東日本大震災からの復興をさらに推し進めるため尽力している。本日は、志垣太郎氏が同社を訪れ、社長にこれまでの歩みや事業内容、故郷への思いなど様々なお話を伺った。

藤田 高志
 | 代表取締役 |

対談
 interview

志垣 太郎
 | 俳優 |

まずは藤田社長の歩みから伺います。地元はここ福島県東白川郡塙町です。実家は家電販売店を個人で経営していましたね。そうした背景もあって、学業修了後は神奈川県にある電機メーカーに就職。ある時、扇風機を製造するために台湾で工場を建設するプロジェクトが立ち上がりました。台湾で製造し、日本に逆輸入するというものです。当時の上司に「コミュニケーションがとれるから」と抜擢され、私が現地に送り込まれることになりました。年間3分の1くらいは台湾に駐在するという生活が5年ほど続きましたね。プロジェクトの立ち上げは無事に成功しました。

—— 持ち前のコミュニケーション力を買われたのですね。立ち上げ成功後はどうされたのでしょうか。

電機メーカーを退社し、実家の家電販売店へ戻り父から依頼された仕事を手掛けていました。また、前職の技術職のメンバーとは退職後も繋がりが深く、一緒にできることはなにかと考えていたのですよ。そんな中で、地元福島県が東日本大震災から復興を遂げるには医療が必要不可欠なのではないかという話が必要でね。福島県

で厚生労働省の認可を取得し、医療機器の設計・販売を手掛けることになったのです。その間に町会議員も務め町興しにも力を入れました。医療機器の仕事、家業である家電販売店、そして町会議員と、多忙ながらも充実した毎日でした。

—— すこい行動力ですね！ 現在はどのようなことに力を入れているのでしょうか。

超音波で目をマッサージする医療機器の販売に力を入れています。使用方法は10分間この機器を目に当てるだけなのですが、痛くも痒くもありません。眼精疲労に効果があります。最近では耳鳴りや頭痛、肩こりが治ったという報告もあるのですよ。この商品は商社さんに卸すだけでなく自社でも販売しています。目に関する医療機器の市場は縮小化してきていますが、この商品が起爆剤になればいいと思いますね。私自身もこの商品の設計に携わってきましたから、思い入れは強いんです。東京での医療機器展示会では、100人に体験していただいて約8割の方に「目が軽くなった」など好意的な意見をいただいたのですよ。もちろん、個人差はあります。ボディを小さくし持ち運びに便利な完全充電式の新型モデルは、医療現場はもちろんですが、家庭でも簡単に使用することができるとです。ですから、一家に一台あれば気軽にセルフケアができます。

—— 今後の展開が楽しみです！ お話はずいぶんですが、最後に社長の夢をお聞かせ下さい。



「藤田社長は、愛郷心で、事業の発展を期す。その中で、医療機器の普及を通じて、故郷の復興を遂げる。そのために、自分自身も努力を怠らぬ。そして、故郷の発展に貢献したい。」

最新型の眼科用超音波治療器を普及させることで、健康ビジネスとセルフケアと環境の分野で多様なニーズにお応えし、さらに成長していきたいですね。そして、故郷の復興はもちろん様々な社会貢献ができればと考えています。



医療機器の普及を通じて、福島復興を推し進める力になりたい